

高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（素案）の意見公募でいただいた意見に対する回答について

1 一般向け意見公募でいただいた意見

No	意見	回答（案）
1	【学童保育の実施場所について】 ・学童は小学校余裕教室での実施が良いと思う。 ・小学校敷地内で実施できていない学童は、児童の安全面から小学校敷地内で実施ができるようにしてもらいたい。	現在、一部の学童保育が小学校敷地内で実施できておらず、毎年教育委員会、小学校と余裕教室の確保について協議しております。 しかしながら、学童保育が実施できるだけの余裕教室がない小学校もあるため、学童保育が小学校敷地内で早期に実施できるよう、今後も教育委員会、小学校と継続して余裕教室の確保について調整を進めていきます。（77～79 ページ、103 ページ、114～116 ページ）
2	【プランの記載内容について】 ・項目に対して具体的な支援策を書いてもらいたい。	新たな高砂市子ども・子育て・若者支援プランの第3章において、令和7（2025）年度から令和11（2029）年度の5年間で取り組む基本方針を示しております。そして、基本方針にそって取り組む具体的な支援策を第4章から掲載しております。また、基本方針の達成状況を評価するための指標を評価指標一覧（106 ページ）でお示ししております。 （第3章 61 ページ～65 ページ、第4章 66 ページ～106 ページ） 各支援策の詳細な実施状況や進捗管理などについては、若者や子育ての当事者や支援者、学識経験者、保育・教育関係者などから構成される「高砂市子ども・子育て・若者会議」において今後も引き続き確認をしていきます。 （133 ページ～136 ページ）

No	意見	回答（案）
3	【施策の展開について】 ・高砂市の施策は近隣自治体と比べて後手に回っていて、新たに子育て世帯が居を構えるにはアピールポイントが少ないと思う。	高砂市では、子育て世帯を含むすべての住民が暮らしやすいまちを目指し、必要な施策の検討を進めております。 働きながら子育てをしやすいまちとして、認定こども園、保育所、学童保育所の待機児童ゼロの堅持や病児保育室の充実等の施策がアピールポイントであることから、これらの施策等について情報発信の充実に努めてまいります。
4	【教育現場のことについて】 ・こどもが減っているなら1クラス30人学級にしたり、他自治体のように作業療法士を置いたり、もっと画期的なことをするべき。 ・教育現場の問題を解決するための政策を考えていかないと、こどもも教育者も増えないと思う。	本年度、本計画とは別に、「第4期高砂市教育振興基本計画」を策定しており、新しい時代に対応した教育のあり方や、これまでの本市での取組と課題などを踏まえて今後重点的に取り組むべき中期的な考え方や具体的施策を示した計画となっております。 他自治体の先進事例を参考としつつ、教育現場における課題解決を図ってまいります。
5	【相談機関の周知について】 ・こどもや若者が困難なことにぶつかった時に、寄り添ってもらえる機関や窓口をさらに周知してもらいたい。	高砂市では、令和6（2024）年より「高砂市こども家庭相談センター結^ゆっくりん（こども窓口課）」を設置し、こども・子育てに係る相談窓口を一元化しています。また、こども窓口課をはじめ、青少年センターなど、さまざまな相談窓口があります。 （99ページ～100ページ 事業 No42901～事業 No42910） こども・若者の皆さんに困った時の相談先があることについて、必要な人に必要な情報が届くよう、十分に周知していきます。 （93ページ事業 No42503）

No	意見	回答（案）
6	【居場所づくりについて】 ・地域交流センターや図書館、ユーアイ帆っとセンターなど、公共施設のフリースペースを開放してほしい。	高砂市の公共施設には、自習などができるフリースペースがあります。自習室リストを作成し、市ホームページで公開しています。これからも更新していきますので、ご利用ください。 (80 ページ事業 No. 33103)
7	【不登校支援について】 ・学校に行きたくなくて、自宅にひきこもっている子をみてる場所がほしい。 ・現在のフリースクールは継続したまま、各学校に校内フリースクールをつくってほしい。 ・大学生と不登校のこどもが関わって、お話や勉強ができる取組があるとよいのではないか。	高砂市では、不登校支援として、令和6（2024）年4月から、校内サポートルーム（自由学習ができるスペース）を市内全ての小中学校に設置しています。校内サポートルームでは、不登校児童生徒支援員がこどもの状況に応じて、社会的自立を促すための支援を行っています。 また、学校以外での支援として、教育支援センター（のびのび教室やサテライト）において、不登校のこどもが社会的に自立するために学習や社会性を身につけられるよう相談・支援を行っています。 (93 ページ事業 No42404) 大学生と不登校のこどもが関わる取組について、若者が地域で活動を始めたいときの支援窓口の設置を検討しています。窓口設置後、大学生も含めた若者から不登校のこどもと関わる活動について相談があれば、適切な窓口案内ができるよう今後の設置にむけて検討していきます。 (80 ページ事業 No33104)

2 こども向け意見公募でいただいた意見

No	意見	回答（案）
1	【こども・若者の意見聴取について】 ・こどもや若者などの意見を聴いてほしい。 ・いろいろな人の意見を聴いてほしい。	こどもや若者のみなさんの意見を聴いて、市の取組をすすめるため、新しいプランに「こどもや若者の視点を踏まえたまちづくり」を方針として掲げました。（65ページ） 意見を聴く具体的な方法として、以下の取組を実施しています。 ・こどもワークショップ （67ページ 事業No11302） ・市長への手紙（こども版） （67ページ 事業No11304） ・子ども・子育て・若者会議 （67ページ 事業No11301） ・市民意見公募制度（パブリックコメント） （67ページ 事業No11303） これからも、みなさんが意見を言いやすい工夫を考えていきますので、高砂市をより良くしていくために、これからもたくさんの意見をお待ちしています。

No	意見 いけん	回答（案） かいとう あん
2	【公園・遊び場について】 ・遊ぶところを増やしてほしい ・ボール遊びができる公園を作ってほしい	高砂市では、こどもから高齢者まで気軽に休める、くつろげる場所として公園を整備して、遊び場を充実させるよう新しいプランの中でも掲げています。（84ページ事業No41112、41113） こどもの遊び場を充実させる具体的な取組として、市内の公園にある遊具を順番に新しくしています。例えば、高砂市で一番人気の市ノ池公園では、アスレチック遊具を新しく作ったり、25年間使われていた大きい遊具を新しくしました。令和6（2024）年度には、ほかの8か所の公園ですべり台等の遊具を新しくしています。 こどもから高齢者までいろいろな人が公園を使うので、ボール遊びができない公園もありますが、高砂市にはたくさんの公園があります。ボール遊びができる公園もあるので、高砂市の公園についてこれからもお知らせをしていきます。
3	【学校について】 ・早く帰れる日を増やしてほしい。 ・長期休暇の期間を長くしてほしい。	高砂市においては、必要な学びの確保の点から、授業時間が決められています。長期休暇の期間を長くすることについては、今後検討していきます。 決められた時間の中で、みんなが等しく、学校で「わかる・できる喜びと学ぶ楽しさ」が実感できるよう、工夫をしていくので、これからもたくさんの意見をお待ちしています。（72ページ事業No. 32203）

No	意見 いけん	回答（案） かいとう あん
4	【再開発・商業施設の誘致等について】 ・サンモールの再開発をしてほしい。 ・スーパー・コンビニを増やしてほしい。	サンモールの再開発について、どんなふうを整備するのかを決めた計画を発表して、実際に整備にとりかかるよう話を続けています。なにか新しい情報があれば、みなさんにお知らせしていきます。 スーパーやコンビニを増やすことについて、高砂市は会社やお店を経営する人や新しく会社やお店を始めたい人を支援する制度を始めています。この制度を利用することで、会社やお店の数を増やし、みんなが住みやすい、暮らしやすいまちづくりをしていきます。
5	【居場所・子ども食堂について】 ・こどもが自由にご飯を食べれるところを作してほしい。 ・気軽に行ける場所を増やしてほしい。	こどもが自由にご飯を食べられるところとして、「子ども食堂」というものがあります。市内の小学校区10か所のうち、6か所で活動していますが、残りの4か所にも「子ども食堂」ができるように、「子ども食堂」を始めたいと考えている人たちに支援をしています。（75ページ事業No32310） また、令和11（2029）年度までに、市内の小学校区8か所以上で「子ども食堂」が活動していることを目標にして、必要な支援が行えているか見直しをしていきます。（106ページ） 高砂市の公共施設には無料で自習などができるフリースペースがあります。自習室リストをつくってホームページで公開しています。これからも更新していくので、ご利用ください。（80ページ事業No33103）

No	意見 いけん	回答（案） かいとう あん
6	【経済的な支援について】 けいざいてき しえん ・高校の無償化 こうこう むしょうか ・高校生までの医療費免除 こうこうせい いりょうひめんじょ ・こども用品を安くしてほしい ようひん やす	高等学校は兵庫県が管理していますが、高砂市独自の施策として、修学が困難な高等学校等在学者に奨学金を支給しています。 こうとうがっこう ひょうごけん かんり たかさごしどくじ しさく （88ページ事業No42105） 高校生までの医療費免除について、現在高砂市に住んでいる高校生世代までのこどもは、無料で医療機関を受診することができます。病気などをしたときは安心して、医療機関を受診してください。 こうこうせい いりょうひめんじょ げんざいたかさごし す こうこうせいせだい むりょう いりょうきかん じゅしん びょうき あんしん いりょうきかん じゅしん （86ページ事業No41404） 全てのこども用品を安くすることはできませんが、学童保育や病児保育などの料金を安くしたり、児童手当を支給するなどの取組を通して、こどもに対するお金の支援をしています。 すべ ようひん やす がくどうほいく びょうじほいく りょうきん やす じどうてあて しきゅう とりくみ とお たい かね しえん （87ページ事業No41409） また、ベビー用品については、リユース品の展示、無料貸出を行っています。 また、ベビー用品については、リユース品の展示、無料貸出を行っています。 また、ベビー用品については、リユース品の展示、無料貸出を行っています。 （87ページ事業No41408） いろいろな取組を知ってもらい、その取組を利用してもらえるように、これからも情報の発信をしていきます。 いろいろな取組を知ってもらい、その取組を利用してもらえるように、これからも情報の発信をしていきます。 いろいろな取組を知ってもらい、その取組を利用してもらえるように、これからも情報の発信をしていきます。

No	意見 いけん	回答（案） かいとう あん
7	【道路・横断歩道について】 どうろ おうだんほど ・横断歩道を増やしてほしい。	横断歩道の設置は、警察がしています。具体的に横断歩道がなく おうだんほど せっち けいさつ あが ばしょ おし ぐたいてき おうだんほど けいさつ そうだん おこな て危ない場所を教えていただければ、警察に相談します。
8	【行事・イベントについて】 ぎょうじ ・子どもが参加できる行事を増やしてほしい。	子どもが参加できる行事について、以下の取組を行っています。 さんか ぎょうじ い か とりくみ おこな ・工場見学の情報提供（74ページ事業No32308） こうじょうけんがく じょうほうていきょう じぎょう ・情報発信（66ページ事業No11201） じょうほうはっしん じぎょう 子どもや親子が参加できるようなイベントや行事を、たかさご ナビやSNS、HPなどを使ってお知らせしていきます。 その他、高砂市の施設でスポーツや絵画、遊びなどの体験イベン ほか たかさご しせつ かいが あそ たいけん トを実施しています。学校を通じてチラシを配っているのです、ぜひ じっし がっこう つう くば 参加してください。 さんか また、行事を増やしていくために以下の取組を行っています。 ぎょうじ ぶん い か とりくみ おこな ・スポーツ、レクリエーション活動の推進（74ページ事業No32305） かつどう すいしん じぎょう ・歴史や伝統文化の体験（74ページ事業No32307） れきし でんとうぶんか たいけん じぎょう 具体的に体験したい行事を提案してもらえれば、新しい行事 ぐたいてき たいけん ぎょうじ ていあん あたら ぎょうじ の実施ができるか考えます。ご意見お待ちしております。 じっし かんが いけん ま

No	意見 いけん	回答（案） かいとう あん
9	【相談について】 き が る そ う だ ん ・気軽に相談できるところがほしい。	困ったときやしんどい時に相談できる体制を整えるため、令和6 こ ま と き そ う だ ん たい せい と と の れ い わ (2024)年度から、こどもや子育てする人の相談先となる「高砂市 ね ん ど こ そ だ ひ と そ う だ ん さ き た か さ ご し こども家庭相談センター結つくりん」を設置しています。 市役所の2階窓口か電話(079-441-7440)で相談がしま し や く し ょ かい ま ど ぐ ち で ん わ そ う だ ん す。(99ページ事業No42901) じ ぎ ょ う